

信仰によって、わたしたちは、この世界が神の言葉によって創造され、従って見えるものは、目に見えているものからできたのではないことが分かるのです。  
ヘブライ人への手紙 11:3

ご無沙汰しております。お元気でしょうか？

私たちが何とか元気で、一郎はこの1月に、玲子は10月に80歳です。それにも負けずと、去る6月から1ヶ月余り、又インディアナポリスへ行って来ました。今回は娘が計画したケンタッキー州にある開拓時代そのままのシェイカーズ村とノースカロライナ州の広大な敷地の中にあるビルトモア邸に遊んだのですが、それから帰って直ぐ、娘が学生時代音楽祭に参加して、私たちが何度か行ったことのあるコロラド州のアスペンへ行こうと、25年ぶりの再訪を決行。当時75歳の義母キヌノも同行したことを懐かしく思い出す。ロッキー山脈を4千メートル近くまで登ると、玲子がうずくまって動かなくなった。しばらくして動けるようになりやれやれ。アスペンの町でも酸素不足になれるのに数日かかると言われています。音楽祭はチェンバーとオーケストラの演奏を堪能して傘寿のお祝いとなりました。



『波はなぎさに 螢は草に 月は山路に 鮎は瀬に』野口雨情の歌で郷土館にある五幅のうちの一つです。今年アメリカの山々を旅して、四国の山川海の旅も、スケールは違いますがいいなと思います。「大洲ええとこ」ブログも頑張ります。 <http://ozu-eetoko.way-nifty.com/ozu/>



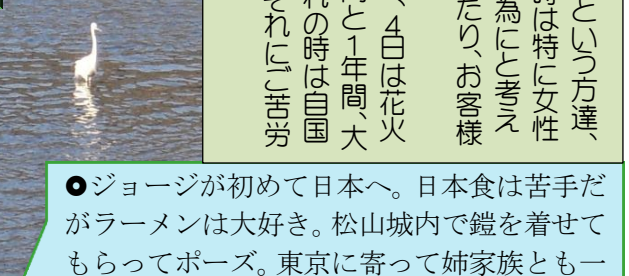
◆ユースを支援してくださいる方々。左が教会のお友達で民子さん。そのまたお友達の賀津子さん。夫々難病をかかえてこの笑顔と元気。私達は元気を貰って、見える神の愛とお導きを信じて毎日を生きています。



◆ここ数年のユースのお客様は定年後元気なうちに旅を計画する方が多く、他は学生の時に来ましたという方達。家族で故郷探訪、グループで田舎の散策、又長期滞在型も。予約制で1グループだけにしたり、一人旅の時は特に女性は別館へなどの配慮をします。広々として、周りの景色も美しいと喜んで下さいます。父や母が青少年の為に考えたことが今又新しいスタイルでお役にたっているのかも。東北大地震後は外国人がしばらく来なくなったり、お客様も少なくなりましたが、いろいろな人との出会いを期待して、世界中が平和になるよう祈りついでます。

◆4人の外国人お嬢様方は大洲で英語教師の任期を終えて、出国前の数日間をうちで過ごし、8月3日、4日は花火大会でこのお姿。着付けも自分ではつちり。お友達も沢山出来て、別れがたい様子。両脇の方たちは2年間と1年間、大洲市内だったので、ふじかげコーラスに入って下さり、コンサートでは素晴らしいソロを。コーラスでお別れの際は自国の歌を披露して下さい、歌はいいな！ 真ん中の一人は山間部で4年間、一人は海岸の町で2年間。それぞれに「苦労もあつたと思うけど、こんなに美しく可愛くて、しっかりした女性たち。将来が楽しみ。☆☆☆☆

◆大洲ふじかげコーラスに夫婦で参加して15年程。毎年の定期演奏会に加え、数回の合同演奏会に出演。この間、宇和島で1回、宇和町で2回第九を歌ったのは想像もしなかった素晴らしい経験。60年余り聖歌隊で讃美歌も歌ってきたけれど、徹底した発声練習は初めてのこと。宇和町では若い先生方が熱心に教えて下さって2時間立ち放しのことも。それに触発されて有志が集まり男性合唱団GGを結成。爺爺ではないGentle Gesang (優しい歌)。このGGの女性指導者がたまたまうちに来られる機会があって、この建物は学校だったからか響きが良いですね、ピアノもあるし、そこでGG 団員募集の意もあって、ボイストレーニング教室発足。子供の頃から絶対歌えないという人も参加。そして声が出た！私達はどこでも最高齢者だが何時まで歌えるか♪



●ジョージが初めて日本へ。日本食は苦手だがラーメンは大好き。松山城内で鎧を着せてもらってポーズ。東京に寄って姉家族とも一時を過ごす。甥の遼と姪の悠里は音楽関係、姉はイラストも自作の絵本作家という新しい道をそれぞれに歩き始めている。左の写真は両親&ネコ達とコンピューターでスカイプ中。無料映像電話でお互いの様子が良くわかる。今はもうこういう時代になった。